

2026 年 9 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社コンヴァノ
(コード:6574 東証グロース)
代表者名 代表取締役社長 上四元 絢
問合せ先 執行役員 藤田 真也
(TEL:03(3770)1190(代表))

医療機関特化型 AI エージェント「AXON」

「第 74 回日本心臓病学会学術集会」にブース出展

～AI が医療現場の”多忙”を変える、ミニセミナーも同時開催～

当社は、AI 技術で医療現場の働き方を変える医療機関特化型 AI エージェントシステム「AXON(アクソン)」について、2026 年 9 月 12 日(土)に開催される「第 74 回日本心臓病学会学術集会」にブース出展するとともに、会期中のミニセミナーに登壇いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「AXON」について

「AXON」は、生成 AI・音声認識技術を活用し、医療現場の業務負担を根本から変える医療機関特化型 AI エージェントシステムです。診察室での会話を AI がリアルタイムに解析してカルテ下書きを自動生成するほか、算定要件・記載漏れの AI チェック、24 時間対応の予約・問診自動化まで、日々の診療業務に AI が深く入り込み、医師が「診療そのもの」に集中できる医療現場の実現を後押しします。

2. AXON PR 動画の公開について

当社は本日、AXON の機能や医療現場での活用イメージをわかりやすく紹介する PR 動画を公開いたしました。AI によるカルテ下書きの自動生成や算定要件チェックなど、AXON が医療現場にもたらす変化を映像でご覧いただけます。

動画 URL: <https://www.youtube.com/watch?v=jsc-z8Vi--I>

3. 出展・登壇概要

学 会 名: 第 74 回日本心臓病学会学術集会
開催日: 2026 年 9 月 12 日(土)(ブース出展)
ミニセミナー日時: 2026 年 9 月 12 日(土) 13:45～14:15
セミナー会場: 第 12 会場(展示ホール・サイエンスボックス 1)
演 題: AI カルテ記載支援システム「AXON」
～自動問診・音声認識による SOAP カルテ自動生成の実際～
登壇者: 南部 翔平(当社委任型執行役員(AI 事業担当)／AXON 監修医師)

※本システムは医師のカルテ作成・確認作業を補助する独立した事務支援システムであり、疾病の診断や治療方針の決定は医師の判断で行うものになります。

4. 展示ブースについて

会場内には、AXONの実機画面やAIによる画像解析デモをその場で体感いただける特設ブースを出展いたします。大型モニターでAIがカルテ記載・問診対応を自動化する様子を実演し、AI技術が医療現場にもたらす変革を、来場の医療関係者の皆さまに直接ご覧いただきます。



(出展ブースイメージ:実際の装飾・展示内容は変更となる場合があります)

5. ご案内チラシ

詳細は、以下のミニセミナー案内チラシをご参照ください。



第74回日本心臓病学会学術集会

ミニセミナー

診察・カルテ・レセプトの「多忙・入力・算定漏れ」から解放！ 業務負担の大幅な軽減をサポートする

医療機関特化型 AI エージェント

AXON

日々増え続けるカルテ入力、窓口・電話での問診対応、複雑化する診療報酬の算定チェック…。

「本業である診療にもっと集中したいのに、事務作業に追われている」と感じていませんか？

『AXON(アクソン)』は、そんな医療現場のリアルな悩みを解消するために生まれた医療機関特化型AIエージェントです。

診察室の会話を聞いてカルテ下書きを自動生成するだけでなく、

算定要件・記載漏れのチェック支援機能や24時間予約・問診の自動化まで、現場の業務フローに入り込んで実務をサポート。

スタッフの業務効率化に貢献し、適正な診療報酬算定の補助と、診療へ集中できる環境づくりを後押しします。

※本システムは医師のカルテ作成・確認作業を補助する独立した事務支援システムであり、疾病の診断や治療方針の決定は医師の判断で行うものになります。

〔登壇者〕

南部 翔平 MD, PhD

日時 2026年 9月12日(土) 【登壇時間】13:45~14:15

会場 第12会場 (展示ホール・サイエンスボックス1)

演題 AIカルテ記載支援システム「AXON」
～自動問診・音声認識によるSOAPカルテ自動生成の実際～



AXON監修医師
南部 翔平 MD, PhD

脳神経外科医として、手術・分子生物学的研究・医療AI開発の三領域を横断。脳神経外科・脳神経血管内・脳神経内視鏡の三専門医資格を持つ術者でありながら、中枢神経系血管芽腫とVHL病の研究で日本遺伝性腫瘍学会 優秀演題(2021年、筆頭演者)を受賞。AANS 2017(米国)でも筆頭演者として発表した。国立がん研究センターでは研究フェローとして髄芽腫の起源解明に取り組む国際共同研究に参画し、成果はNature (2022)に掲載。マルチオミクス解析と機械学習を扱った総説(Biomolecules 2021)にも参画するなど、データサイエンスの経験も深めてきた。臨床・研究で培った知見を活かし、現在は医療情報特化RAG基盤やAIエージェントの設計開発に従事。三領域を一貫してつなぐ経歴が現在の開発基盤となっている。

【学歴】
信州大学医学部医学科 卒業
東京大学大学院
脳神経医学専攻 修了(医学博士)

【主な経歴・所属機関】
東京大学医学部附属病院
国立がん研究センター研究所
脳腫瘍連携研究分野
日本赤十字社医療センター
国立国際医療研究センター
JCHO東京新宿メディカルセンター
獨協医科大学病院

帝京大学ちば総合医療センター
会津中央病院
アルバカファミリークリニック 院長

【資格・専門医】
日本脳神経外科学会 専門医
日本脳神経血管内治療学会 専門医
日本神経内視鏡学会 技術認定医

【所属学会】
日本脳神経外科学会
日本脳学会
日本在宅医療連合学会

日本緩和医療学会
日本遺伝性腫瘍学会
Society for Neuro-Oncology, Member
日本脳腫瘍学会
American Association of
Neurological Surgeons, Member
日本神経内視鏡学会
日本脳腫瘍病理学会
日本脳卒中学会
日本脳神経血管内治療学会

CONVANO

以上